

授業名称：GPS を用いた地理空間情報の収集

シラバス

(地方公共団体向け)

概要：

地理空間情報活用推進基本法の施行に伴い、GIS で利用可能な情報も飛躍的に増加することが見込まれるが、それを現実の問題解決に利用するには、目的に応じて新たな情報を付加していく必要がある。また、地図化されていない行政情報を GIS に取り込むことで業務の高度化や効率化も期待できる。この授業では、利用可能な既成の地理空間情報の概要を紹介した上で、オリジナルな地理空間情報を GPS で収集し、GIS で利用するための手順を学習する。

学習目標：

ある地域の環境を評価するために、現地で地理空間情報を収集し、GIS に取り込む方法を習得する。そのための下位目標は、以下の事項である。

- ・作業課題に適した精度や内容をもつ既成の地理空間情報を入手する方法について理解する。
- ・GPS を用いてフィールドで地理空間情報を収集し、GIS で利用する方法を習得する。

受講対象：

地方公共団体等において、GIS に関連する業務に従事している者、もしくは GIS に関する基礎知識は有しており、今後、専門性を高めたい意向がある者等。

- (1) 地方公共団体の情報部門の人材
- (2) 地方公共団体の情報部門以外に所属し、GIS の活用が期待される業務に従事する人材
- (3) その他、地域行政に関連する組織に所属し、GIS の活用が期待される業務に従事する人材

教育手法：

GIS を用いた室内作業とフィールドでの野外作業とを組み合わせながら、一部の作業にはグループワークを取り入れる。

担当講師及び講師の必要要件：

各種の地理空間情報の特性と入手方法、および GPS の利用方法を理解していること。

参考資料：

- (1) 山崎利夫『カシミール 3D と GPS・GIS を使ったオリジナルマップ作成講座』古今書院
- (2) ITS 情報通信システム推進会議『図解 これぞわかった GPS 第 2 版』森北出版

キーワード：

GIS、GPS、空間的思考、フィールドワーク